

[採択時公表]

組織表を先に作成してください。

項目13は、組織表に必要事項を入力すると数字が自動入力されますので、組織表を先に作成してください。

13. プログラム担当者の構成	計	35	名				
外国人の人数・割合	1	人	2.9	%	女性の人数・割合	12	人 34.3 %
申請大学・共同実施機関に属する者	32	人	連携先機関に属する者	3	人		
そのうち、他大学等を経験したことのある者	28	人	そのうち、大学等以外に属する者	2	人		

14. プログラム担当者一覧

※「年齢」は公表しません。

番号	氏名	フリガナ	年齢	機関名・所属(研究科・専攻等)・職名	学位	現在の専門	役割分担	レポート 予定 (割合)
1	文部 花子	モンブ ハナコ	60	文部大学大学院AAAA研究科AAAA専攻・研究科長	AA博士	AA科学	プログラム責任者	1
2	文部 次郎	モンブ ジロウ	59	文部大学大学院AAAA研究科AAAA専攻・教授	AA博士	AA科学	プログラムコーディネーター	3
3	文部 三郎	モンブ サブ						
4	文部 春子	モンブ ハルコ						
5	文部 四郎	モンブ シロウ	59	文部大学大学院AAAA研究科AAAA専攻・教授	博士 (AA)	AA科学		
6	文部 五郎	モンブ ゴロウ	40	文部大学大学院AAAA研究科AAAA専攻・准教授	博士 (AA)	AA科学		
7	文部 夏子	モンブ ナツコ						
8	文部 六郎	モンブ ロクウ						
9	文部 七郎	モンブ シチウ						
10	文部 八郎	モンブ ハチロウ						
11	文部 秋子	モンブ アキコ						
12	文部 九郎	モンブ クウ						
13	文部 十郎	モンブ ジュウ						
14	虎ノ門 太郎	トラノモン タロウ	58	文部大学大学院BBBB研究科AAAA専攻・教授	BB博士	BB科学		
15	虎ノ門 次郎	トラノモン ジロウ	57	文部大学大学院BBBB研究科AAAA専攻・教授	BB博士	BB科学		
16	虎ノ門 春子	トラノモン ハルコ	54	文部大学大学院BBBB研究科AAAA専攻・教授	博士 (BB)	BB科学		
17	虎ノ門 三郎	トラノモン サブ	50	文部大学大学院BBBB研究科BBBB専攻・教授	博士 (BB)	BB科学		
18	虎ノ門 夏子	トラノモン ナツコ	37	文部大学大学院BBBB研究科BBBB専攻・准教授	博士 (BB)	BB科学		
19	虎ノ門 四郎	トラノモン シロウ	36	文部大学大学院CCCC研究科AAAA専攻・教授	博士 (CC)	CC科学		
20	虎ノ門 秋子	トラノモン アキコ	55	文部大学大学院CCCC研究科AAAA専攻・教授	博士 (CC)	CC科学		
21	虎ノ門 冬子	トラノモン フユコ	54	文部大学大学院CCCC研究科BBBB専攻・教授	博士 (CC)	CC科学		
22	虎ノ門 五郎	トラノモン ゴロウ	43	文部大学大学院CCCC研究科BBBB専攻・准教授	博士 (CC)	CC科学		
23	文化 太郎	ブンカ タロウ	56	文化大学大学院DDDD研究科AAAA専攻・教授 (文部大学大学院CCCC研究科BBBB専攻・教授H30.9.1就任予定)	博士 (DD)	DD科学		
24	科学 次郎	カガク ジロウ	54	科学大学大学院EEEE研究科AAAA専攻・教授	EE博士	EE科学		
25	科学 三郎	カガク サブ	53	科学大学大学院EEEE研究科AAAA専攻・教授	EE博士	EE科学		

項目14についても、組織表に必要事項を入力すると全項目が自動入力されますので、組織表を先に作成してください。

単位に注意してください。

項目13、14については、自動入力の設定が反映されなくなるため、行・列の追加はしないでください(行幅・列幅の改幅は可能です)。

プログラム担当者が多い場合は、ページを追加することができます。現在印刷範囲外にある様式を印刷範囲に追加し、他と同様に「組織表」から作成してください。

※印刷範囲が正しく設定されているか確認してください。

※各項目は組織表から自動入力されますが、特にページを追加した場合は、正しく転記されているか確認してください。

(機関名：文部大学 フリガナ名称：○○○○○○○○○○○○○○○○)

14. プログラム担当者一覧（続き）								
氏名	フリガナ	年齢	機関名・所属(研究科・専攻等)・職名	学位	現在の専門	役割分担	印刷 予定 割合	
26	科学 春子	カガク ハルコ	55	科学大学大学院EEEE研究科AAAA専攻・教授	博士 (EE)	EE科学		
27	科学 四郎	カガク シロウ	42	科学大学大学院EEEE研究科AAAA専攻・准教授	博士 (EE)	EE科学		
28	科学 五郎	カガク ゴロウ	41	科学大学大学院EEEE研究科AAAA専攻・准教授	博士 (EE)	EE科学		
29	科学 六郎	カガク ロクロウ	39	科学大学大学院EEEE研究科AAAA専攻・准教授	博士 (EE)	EE科学		
30	科学 夏子	カガク ナツコ	54	科学大学大学院EEEE研究科BBBB専攻・教授	博士 (EE)	EE科学		
31	科学 七郎	カガク シチロウ	54	科学大学大学院EEEE研究科BBBB専攻・教授	博士 (EE)	EE科学		
32	科学 秋子	カガク アキコ	38	科学大学大学院EEEE研究科BBBB専攻・准教授	博士 (EE)	EE科学		
33	John Smith	ジョン スミス	50	FFFF University・FFFF Institute・Professor	博士 (FF)	FF科学		
34	卓越 卓	タクエツ タク	51	独立行政法人卓越研究機構・主任研究員	博士 (AB)	AB科学		
35	文科 越子	モンカ エツコ	48	株式会社文科・GGGG研究所・主任研究員	博士 (BC)	BC科学		
36								
37								
38								
39								
40								
41								
42								
43								
44								
45								
46								
47								
48								
49								
50								
51								
52								
53								
54								
55								

項目13、14については、自動入力の設定が反映されなくなるため、行・列の追加はしないでください(行幅・列幅の改編は可能です)。

プログラム担当者が多い場合は、ページを追加することができます。現在印刷範囲外にある様式を印刷範囲に追加し、他と同様に「組織表」から作成してください。

※印刷範囲が正しく設定されているか確認してください。

※各項目は組織表から自動入力されますが、特にページを追加した場合は、正しく転記されているか確認してください。

令和2年度（2020年度）
卓越大学院プログラム 計画調書

1ページに収めてください。

[採択時公表]

(1) プログラムの全体像【1ページ以内】

（申請するプログラムの全体像を1ページ以内で記入してください。その際、令和2年度（2020年度）「卓越大学院プログラム」審査要項にある評価項目の「卓越性」、「構想の実現可能性」、「継続性及び発展性」、「大学院改革事業としての意義」が明確になるように記入してください。）

※ポンチ絵等の資料を添付することはできません。

○○○○…

各項目のタイトル、説明文は改編不可です。
必ず残してください。

採択された場合、「計画調書」（様式2）（ポンチ絵を含む）は、
採択理由とともに公表する予定です。

「計画調書」（様式2）は採択時に公表するため、他の様式を用いた表現（例「様式○の○ページ参照…」、「様式○の○ページで後述する…」）は使用しないでください。

(2) プログラムの内容【4ページ以内】

(プログラムの目的や養成する人材像、それに対する申請大学の大学院教育の現状と課題、本事業に取り組むべき必要性を具体的に示してください。その上で、プログラムを構築・展開するカリキュラム及び修了要件等の具体的な取組内容について、教育内容の体系性にも留意した上で説明してください。また、人材育成上の課題を明確にした上で、その課題解決に向け検証可能かつ明確な目標を、プログラムの目的にふさわしい水準で設定し記入してください。)

※プログラムの内容が分かるよう
を考慮する必要はありません。

採択されたプログラムについては、ポンチ絵も含めて公表する予定です。

行数

○○○○○…

各項目のタイトル、説明文は改編不可です。
必ず残してください。

「計画調書」(様式 2) は採択時に公表するため、他の様式を用いた表現(例「様式○の○ページ参照…」、「様式○の○ページで後述する…」)は使用しないでください。

「計画調書」(様式2)は採択時に公表するため、他の様式を用いた表現(例「様式〇の〇ページ参照…」、「様式〇の〇ページで後述する…」)は使用しないでください。

「計画調書」(様式 2) は採択時に公表するため、他の様式を用いた表現(例「様式〇の〇ページ参照…」、「様式〇の〇ページで後述する…」)は使用しないでください。

「計画調書」(様式 2) は採択時に公表するため、他の様式を用いた表現(例「様式〇の〇ページ参照…」、「様式〇の〇ページで後述する…」)は使用しないでください。

◎プログラムとして設定する検証可能かつ明確な目標【1 ページ以内】

項目	内容	備考
(例) 〇〇分野の国際学会 における発表者数	令和2～3年度(2020年度～2021年度)一名 令和4年度(2022年度) 〇名/年 令和5～8年度(2023年度～2026年度) 〇名 /年	M2以上の学生に課す〇〇〇プロジェクトの結果等を活用し、特に優秀な学生はM2から成果を発表することを想定。
国際学会の発表者数		
国際ジャーナルへの掲載数		
海外連携先機関数		
	1 ページに収めてください。	

※適宜行を追加・削除してください。

※公募要領に記載のとおり、「経済・財政再生計画 改革工程表2017改訂版」に基づき設定する測定指標のうち「国際学会の発表者数」「国際ジャーナルへの掲載数」「海外連携先機関数」については、必ず記入してください。

◎本プログラムの学生受入に関する事項【1 ページ以内】

1 ページに収めてください。

① 本プログラムの学生受入開始（予定）年月日

平成〇〇年(〇〇〇〇年)〇月〇日受入れ開始予定

② 本プログラムの学生受入予定人数

各年度における本学位プログラムの在籍予定学生数を該当する表に記入してください。括弧内はそのうち課程の途中から編入を受け入れる予定数を記入してください（編入を受け入れる予定数は、年度ごとに記入してください。編入を行う予定の年度の翌年度以降は、当該編入予定数は在籍予定学生数に含めてください。）。

※「プログラムの基本情報」（様式1）の「7. 授与する博士学位分野・名称」に記載の学位を授与する予定の学生数を記入してください。

※計及び合計欄は自動的に入力されます。

自動計算

	博士前期課程 1年	博士前期課程 2年	博士後期課程 1年	博士後期課程 2年	博士後期課程 3年	計
R2 (2020)	20 (0)	0 (0)	5 (5)	0 (0)	0 (0)	25 (5)
R3 (2021)	20 (0)	20 (0)	0 (0)	5 (0)	0 (0)	45 (0)
R4 (2022)	20 (0)	20 (0)	20 (0)	0 (0)	5 (0)	65 (0)
R5 (2023)	20 (0)	20 (0)	20 (0)	20 (0)	0 (0)	80 (0)
R6 (2024)	20 (0)	20 (0)	20 (0)	20 (0)	20 (0)	100 (0)
R7 (2025)	20 (0)	20 (0)	20 (0)	20 (0)	20 (0)	100 (0)
R8 (2026)	20 (0)	20 (0)	20 (0)	20 (0)	20 (0)	100 (0)

自動計算

	博士課程（4年 制）1年	博士課程（4年 制）2年	博士課程（4年 制）3年	博士課程（4年 制）4年	計	合計
R2 (2020)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	25
R3 (2021)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	45
R4 (2022)	上下の表のうちいずれかの表のみ使用する場合には、使用しない表の中の全ての入力可能セルに数字の「0」が入っていることを確認した上で、各セルに「セルの書式設定」を用いて斜線を引いてください。					
R5 (2023)						
R6 (2024)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	100
R7 (2025)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	100
R8 (2026)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	100

③ 本プログラムによる学位授与数（年度当たり）の目標

平成〇年度(〇〇〇〇年度)〇名、平成〇年度(〇〇〇〇年度)以降〇名（年度当たり）

絵 手 本

必ず機関名・プログラム名称を記入してください。

(3) 大学院全体のシステム改革【2 ページ以内】

(申請大学全体として大学院全体のシステムをどのように改革するのかについて、本事業による取組はどのような位置づけで、どのような役割を果たすのか、取組のどのような要素を大学院全体に波及させるのかという観点から、現状と課題を踏まえた上で、具体的に記入してください。)

また、本年度に本事業に申請している他のプログラム、本事業に既に採択されたプログラム、博士課程教育リーディングプログラムの採択プログラムがある場合には、貴学における大学院全体のシステム改革構想の観点から、これらのプログラム及び本申請について、それぞれの役割、位置付けを明確に説明してください。特に、本事業に既に採択されたプログラムについては、既採択プログラムの構想の中で示した大学院システム改革の取組状況を記入するとともに、大学院システム改革と本事業による取組の関係を明確にしてください。)

※ポンチ絵等の資料を添付することはできません。

○○○○…

各項目のタイトル、説明文は改編不可です。
必ず残してください。

「計画調書」(様式 2) は採択時に公表するため、他の様式を用いた表現(例「様式○の○ページ参照…」、「様式○の○ページで後述する…」)は使用しないでください。

「計画調書」(様式 2) は採択時に公表するため、他の様式を用いた表現(例「様式〇の〇ページ参照…」、「様式〇の〇ページで後述する…」)は使用しないでください。

(4) プログラムの特色、卓越性【2 ページ以内】

(申請するプログラムの特色、卓越性に関して記入してください。その際、様式 1「5. 設定する領域」において選択した「最も重視する領域」を踏まえ、①学術活動の水準、②これを前提とした教育プログラムが、国際的な観点から見て卓越性を有していることを必ず記載し、明確に説明してください。)

※ポンチ絵等の資料を添付することはできません。

○○○○…

各項目のタイトル、説明文は改編不可です。
必ず残してください。

「計画調書」(様式 2) は採択時に公表するため、他の様式を用いた表現(例「様式○の○ページ参照…」、「様式○の○ページで後述する…」)は使用しないでください。

「計画調書」(様式 2) は採択時に公表するため、他の様式を用いた表現(例「様式〇の〇ページ参照…」、「様式〇の〇ページで後述する…」)は使用しないでください。

(5) 学長を中心とした責任あるマネジメント体制【2 ページ以内】

(学長の考える現状の大学院システムの課題と、学長のリーダーシップの下でそれに対してどのように取り組むか、また、学長を中心として構築される責任あるマネジメント体制を確保するための取組、大学全体の中長期的な改革構想の中での当該申請の戦略的な位置づけ、高度な「知のプロフェッショナル」を輩出する仕組みの継続性の担保と発展性の見込みについて、大学としてどのように構想しているか、記入してください。)

※ポンチ絵等の資料を添付することはできません。

○○○○…

各項目のタイトル、説明文は改編不可です。
必ず残してください。

「計画調書」(様式 2) は採択時に公表するため、他の様式を用いた表現(例「様式○の○ページ参照…」、「様式○の○ページで後述する…」)は使用しないでください。

「計画調書」(様式 2) は採択時に公表するため、他の様式を用いた表現(例「様式〇の〇ページ参照…」、「様式〇の〇ページで後述する…」)は使用しないでください。

1 ページに収めてください。

(6) 学位プログラムの継続、発展のための多様な学内外の資源の確保・活用方策【1 ページ以内】
(学位プログラムの継続、発展のための学内外資源に関し、①確保のための方策、②活用の方策について大学としてどのように構想しているか、様式5-1、様式5-2との関連、及び具体的な算出根拠を示しつつ、記入してください。)

※ポンチ絵等の資料を添付することはできません。

○○○○…

**各項目のタイトル、説明文は改編不可です。
必ず残してください。**

「計画調書」(様式 2) は採択時に公表するため、他の様式を用いた表現(例「様式〇の〇ページ参照…」、「様式〇の〇ページで後述する…」)は使用しないでください。

(7) 大学院教育研究に係る既存プログラムとの違い【1 ページ以内】
 <プログラム担当者が、大学院教育研究にかかる既存のプログラムを継続実施中の場合のみ記載。それ以外の場合は該当なしと記載。>
 (現在国の教育・研究資金により継続実施中である大学院教育研究に係るプログラム(卓越大学院プログラム、博士課程教育リーディングプログラム、その他研究支援プロジェクト等)に、当該申請のプログラム担当者が関わっている場合(プログラム責任者として複数プログラムに関与している場合を除く)には、当該プログラム及び関与しているプログラム担当者の氏名を明記の上、プログラムの内容、対象となる学生、経費の使用目的等、本プログラムとの違いを明確に説明してください。
 博士課程教育リーディングプログラムについては、国の補助期間が終了している場合についても、継続されているプログラムと本プログラムとの違いを上記にならない記述してください。)

※ポンチ絵等の資料を添付することはできません

○○○○…

**各項目のタイトル、説明文は改編不可です。
必ず残してください。**

「計画調書」(様式 2) は採択時に公表するため、他の様式を用いた表現(例「様式○の○ページ参照…」、「様式○の○ページで後述する…」)は使用しないでください。

(8) 調書の概要資料【10ページ以内】

(調書の概要として、面接審査ヒアリング実施要領2.(3)を参照の上、同項の「特にアピールしたい点」の資料を添付してください。審査要項にある評価項目も踏まえた取組内容を具体的に記載するほか、教育課程の概念図など教育内容の体系や概要についての説明を含めてください。

その際、必ず調書の該当ページを示してください。調書に記載のない内容を本項において新たに盛り込んでも、審査の対象とはなりません。

なお、面接審査の対象となった場合、ヒアリング時に使用する説明資料は本資料から変更してかまいません。)

この説明文は削除せずに残してください。概要資料は、説明文と同じページから開始しても、次のページから開始してもいずれでもかまいません。

調書の概要として、面接審査ヒアリング実施要領2.(3)を参照の上で、同項の「特にアピールしたい点」の資料をA4判10ページ以内で作成してください。

様式やページ構成の指定はありません。

表紙や目次等、調書の内容について全く説明しないページはページ数に含みません。

必ず調書の該当ページを示してください。調書に記載のない内容を本項において新たに盛り込んでも、審査の対象とはなりません。

必ず各ページ右下に機関名・プログラム名称を記入してください。

調書の概要として、面接審査ヒアリング実施要領2. (3)を参照の上で、同項の「特にアピールしたい点」の資料をA4判10ページ以内で作成してください。

様式やページ構成の指定はありません。
表紙や目次等、調書の内容について全く説明しないページはページ数に含みません。

必ず調書の該当ページを示してください。調書に記載のない内容を本項において新たに盛り込んでも、審査の対象とはなりません。

料 資 要 概 (8)

必ず各ページに機関名・プログラム名称を記入してください。

令和2年度（2020年度）
卓越大学院プログラム 教育研究実績・環境等に関する基礎データ

対象となる専攻全てについて、大学ごとに別葉で記入してください。

(1) 学位プログラムに関連する専攻の現状

① 関連専攻の入学定員等

「プログラムの基本情報」（様式1）の「8. 学生の所属
 学定員等について記入してください。大学ごとにページを複

様式3「(4) 進路の現状」の修了者数（学位授与者
 数）との整合性に注意してください。 ※満期退学者は
 含まない。

大学名： 文部大学

研究科・専攻名	課程区分	年度	入学定員	志願者数	入学者数	入学者のうち			修了者数	授与学位 分野・名称
						外国人	社会人	自大学の 同一分野 出身者		
AAAA研究科AAAA専攻	博士課程前期	H30	40	85	45	15	1	0	40	修士 (AA)
		H29	40	90	40	10	0	2	35	
		H28	40	80	35	25	0	0	40	
	博士課程後期	H30	20	50	25	10	0	0	10	(AA)
		H29	20	50	25	10	0	0	10	
AAAA研究科BBBB専攻	博士課程前期	H30	20	50	25	10	0	0	10	(AB)
		H29	20	60	15	5	0	2	15	
		H28	20	50	25	10	0	2	15	
	博士課程後期	H30	20	50	25	10	0	0	10	博士 (AB)
		H29	20	60	15	5	0	2	15	
AAAA研究科CCCC専攻 (H31. 4新設)	博士課程(一貫制)	H30	-	-	-	-	-	-	-	博士 (AC)
		H29	-	-	-	-	-	-	-	
		H28	-	-	-	-	-	-	-	
BBBB研究科AAAA専攻	博士課程前期	H30	-	-	-	-	-	-	-	修士 (BA)
		H29	-	-	-	-	-	-	-	
	博士課程後期	H30	-	-	-	-	-	-	-	修士 (BA)
		H29	-	-	-	-	-	-	-	
BBBB研究科BBBB専攻	博士課程前期	H30	-	-	-	-	-	-	-	修士 (BB)
		H29	-	-	-	-	-	-	-	
	博士課程後期	H30	-	-	-	-	-	-	-	修士 (BB)
		H29	-	-	-	-	-	-	-	
CCCC研究科AAAA専攻	博士課程前期	H30	-	-	-	-	-	-	-	修士 (CA)
		H29	-	-	-	-	-	-	-	
		H28	-	-	-	-	-	-	-	
	博士課程後期	H30	20	50	25	10	0	0	10	博士 (CA)
		H29	20	60	15	5	0	2	15	
CCCC研究科BBBB専攻 (H30. 4新設。旧組織名CCCC 研究科CCCC専攻、DDDD専 攻)	博士課程前期	H30	40	85	45	15	1	0	-	修士 (CB)
		H29	-	-	-	-	-	-	-	
		H28	-	-	-	-	-	-	-	
CCCC研究科CCCC専攻 (H30. 3募集停止)	博士課程前期	H30	20	50	25	10	0	0	-	(CB)
		H29	-	-	-	-	-	-	-	
		H28	-	-	-	-	-	-	-	
CCCC研究科CCCC専攻 (H30. 3募集停止)	博士課程後期	H30	-	-	-	-	-	-	10	博士 (CC)
		H29	20	60	15	5	0	2	15	
		H28	20	50	25	10	0	2	15	

対象となる専攻全てについて、それぞれ課程区分ご
 とに記入してください。課程区分はプルダウンから
 選択してください。

該当する数字が「0」の場合、空欄にせず「0」を
 記入してください。
 新設等で実績がない場合は「-」を記入してくだ
 さい。
 なお、取組の実績として示すことが有効と判断し
 た場合には、その旨付記の上、旧組織等のデー
 タを記入することも可能です。
 旧組織の実績が改組後の実績と密接に関連して
 おり、今後も同様の実績が予想される場合は、旧組
 織の実績を含めて構いませんが、新設や組織が改
 組によって大きく変更された場合は、旧組織の実
 績は含めないでください。

機関名・プログラム名称は、エクセルファイル1
 シート目の「機関名及びプログラム名称」シー
 トの該当欄に記入すると自動転記されます。

CCCC研究科DDDD専攻 (H30.3募集停止)	博士課程前期	H30	-	-	-	-	-	-	40	修士 (CD)
		H29	40	90	40	10	0	2	35	
		H28	40	80	35	25	0	0	40	
DDDD研究科AAAA専攻	博士課程後期	H30								博士 (DA)
		H29								
		H28								
DDDD研究科AAAA専攻	博士課程前期	H30								博士 (DA)
		H29								
		H28	40	*	35	25	0	0	40	
DDDD研究科AAAA専攻	博士課程後期	H30	20	50	25	10	0	0	10	博士 (DA)
		H29	20	60	15	5	0	2	15	
		H28	20	50	25	10	0	2	15	
H30年度博士課程修了者（満期退学者を除く）の合計									80	
※（４）進路の現状「博士課程修了者（満期退学者を除く）」の「合計」と一致させてください。										
※関連専攻が多く欄が不足する場合や課程区分の欄が余る場合は、適宜行を追加・削除してください。										
備考										
※DDDD研究科AAAA専攻博士課程前期は専攻別ではなく系別募集のため、系単位で集計。										
AA系志願者数 H29:300人 H28:301人 H27:302人										

(1) 学位プログラムに関連する専攻の現状

①関連専攻の入学定員等

「プログラムの基本情報」(様式1)の「8. 学生の所属する専攻等名」に記載した専攻等の各課程の過去3年間の入学定員等について記入してください。大学ごとにページを複製して作成してください。

大学名： 科学大学

研究科・専攻名	課程区分	年度	入学定員	志願者数	入学者数	入学者のうち			修了者数	授与学位分野・名称
						外国人	社会人	自大学の同一分野出身者		
EEEE研究科AAAA専攻	博士課程前期	H30	40	85	45	15	1	0	40	修士 (EA)
		H29	40	90	40	10	0	2	35	
		H28	40	80	35	25	0	0	40	
	博士課程後期	H30	20	50	25	10	0	0	10	博士 (EA)
		H29	20	60	15	5	0	2	15	
									2	
対象となる専攻全てについて、大学ごとに別業で記入してください。										
EEEE研究科BBBB専攻	博士課程前期	H29	40	90	40	10	0	2	35	修士 (EB)
		H28	40	80	35	25	0	0	40	
		H30	20	50	25	10	0	0	10	
	博士課程後期	H29	20	60	15	5	0	2	15	博士 (EB)
		H28	20	50	25	10	0	2	15	
H30 年度博士課程修了者(満期退学者を除く)の合計									20	
※(4)進路の現状「博士課程修了者(満期退学者を除く)」の「合計」と一致させてください。										

※関連専攻が多く欄が不足する場合や課程区分の欄が余る場合は、適宜行を追加・削除してください。

備考

CCCC研究科BBBB専攻 (H30.4新設。旧組織名 CCCC研究科CCCC専攻、DDDD 専攻) ※	1	○○○○…	○○○○○
	2	○○○○…	○○○○○
	3	○○○○…	○○○○○
	4	○○○○…	○○○○○
	5	○○○○…	○○○○○
DDDD研究科AAAA専攻	1	○○○○…	○○○○○
	2	○○○○…	○○○○○
	3	○○○○…	○○○○○
	4	○○○○…	○○○○○
	5	○○○○…	○○○○○

※関連専攻や論文数が多く欄が足りない場合は、適宜行を追加してください。

備考
 ※CCCC研究科BBBB専攻はH30.4新設。旧組織CCCC研究科CCCC専攻、DDDD専攻の実績を含む。

②関連専攻の博士論文名等一覧

「プログラムの基本情報」（様式1）の「8. 学生の所属する専攻等名」に記載した専攻等のうち、主要区分に関わる専攻等において平成30年度（2018年度）に博士学位を授与した学生の博士論文名、主（任）指導教員を記入してください。大学ごとにページを複製して作成してください。

大学名： 科学大学

研究科・専攻名	番号	博士論文名	主（任）指導教員
EEEE研究科AAAA専攻	1	○○○○…	○○○○○
	2	○○○○…	○○○○○
	3	○○○○…	○○○○○
	4	○○○○…	○○○○○
	5	○○○○…	○○○○○
	6	○○○○…	○○○○○
			○○○
			○○○
	9	○○○○…	○○○○○
	10	○○○○…	○○○○○
EEEE研究科BBBB専攻	1	○○○○…	○○○○○
	2	○○○○…	○○○○○
	3	○○○○…	○○○○○
	4	○○○○…	○○○○○
	5	○○○○…	○○○○○
	6	○○○○…	○○○○○
	7	○○○○…	○○○○○

対象となる専攻全てについて、大学ごとに別葉で記入してください。

※関連専攻や論文数が多く欄が足りない場合は、適宜行を追加してください。

備考

③関連専攻の教員組織

「プログラムの基本情報」（様式1）の「8. 学生の所属する専攻等名」に記載した専攻等の各課程の令和元年（2019年）5月1日現在の教員組織について記入してください。大学ごとにページを複製して作成してください。

自動計算

大学名： 文部大学

研究科・専攻名	課程区分	教授(名)		准教授(名)		講師(名)		助教(名)		合計(名)	
		専任	兼任	専任	兼任	専任	兼任	専任	兼任	専任	兼任
AAAA研究科AAAA専攻	博士課程前期	15	5	10	3	5	3	10	0	40	11
上記のうち外国人教員		5	1	3	2	0	2	2	0	10	5
専任教員のうち他大学等を経験したことのある者		12	-	4	-	4	-	10	-	30	-
AAAA研究科AAAA専攻	博士課程後期	15	5	10	3	5	3	10	0	40	11
上記のうち外国人教員		5	1	3	2	0	2	2	0	10	5
専任教員のうち他大学等を経験したことのある者		12	-	4	-	4	-	10	-	30	-
AAAA研究科BBBB専攻	博士課程前期	15	5	10	3	5	3	10	0	40	11
上記のうち外国人教員		5	1	3	2	0	2	2	0	10	5
専任教員のうち他大学等を経験したことのある者		12	-	4	-	4	-	10	-	30	-
AAAA研究科BBBB専攻	博士課程後期	15	5	10	3	5	3	10	0	40	11
上記のうち外国人教員		5	1	3	2	0	2	2	0	10	5
専任教員のうち他大学等を経験したことのある者		12	-	4	-	4	-	10	-	30	-
AAAA研究科CCCC専攻	博士課程前期	15	5	10	3	5	3	10	0	40	11
上記のうち外国人教員		5	1	3	2	0	2	2	0	10	5
専任教員のうち他大学等を経験したことのある者		12	-	4	-	4	-	10	-	30	-
AAAA研究科CCCC専攻	博士課程後期	15	5	10	3	5	3	10	0	40	11
上記のうち外国人教員		5	1	3	2	0	2	2	0	10	5
専任教員のうち他大学等を経験したことのある者		12	-	4	-	4	-	10	-	30	-
BBBB研究科AAAA専攻	博士課程前期	15	5	10	3	5	3	10	0	40	11
上記のうち外国人教員		5	1	3	2	0	2	2	0	10	5
専任教員のうち他大学等を経験したことのある者		12	-	4	-	4	-	10	-	30	-
BBBB研究科AAAA専攻	博士課程後期	15	5	10	3	5	3	10	0	40	11
上記のうち外国人教員		5	1	3	2	0	2	2	0	10	5
専任教員のうち他大学等を経験したことのある者		12	-	4	-	4	-	10	-	30	-
BBBB研究科BBBB専攻	博士課程前期	15	5	10	3	5	3	10	0	40	11
上記のうち外国人教員		5	1	3	2	0	2	2	0	10	5
専任教員のうち他大学等を経験したことのある者		12	-	4	-	4	-	10	-	30	-
CCCC研究科AAAA専攻	博士課程前期	15	5	10	3	5	3	10	0	40	11
上記のうち外国人教員		5	1	3	2	0	2	2	0	10	5
専任教員のうち他大学等を経験したことのある者		12	-	4	-	4	-	10	-	30	-
CCCC研究科AAAA専攻	博士課程後期	15	5	10	3	5	3	10	0	40	11
上記のうち外国人教員		5	1	3	2	0	2	2	0	10	5
専任教員のうち他大学等を経験したことのある者		12	-	4	-	4	-	10	-	30	-
CCCC研究科BBBB専攻	博士課程前期	15	5	10	3	5	3	10	0	40	11
上記のうち外国人教員		5	1	3	2	0	2	2	0	10	5
専任教員のうち他大学等を経験したことのある者		12	-	4	-	4	-	10	-	30	-
CCCC研究科BBBB専攻	博士課程後期	15	5	10	3	5	3	10	0	40	11
上記のうち外国人教員		5	1	3	2	0	2	2	0	10	5
専任教員のうち他大学等を経験したことのある者		12	-	4	-	4	-	10	-	30	-

専任：学校基本調査における「本務者」
兼任：学校基本調査における「兼務者」

対象となる専攻全てについて、それぞれ課程区分ごとに記入してください。課程区分はプルダウンから選択してください。

該当する数字が「0」の場合、空欄にせず「0」を記入してください。

「他大学を経験したことのある者」とは、所属大学を除く機関（他の大学、民間企業、研究機関等）で、教育研究活動（学位の取得を含む）の経験を有する場合（非常勤の場合を除く）にカウントしてください。

DDDD研究科AAAA専攻	博士課程前期	15	5	10	3	5	3	10	0	40	11
上記のうち外国人教員		5	1	3	2	0	2	2	0	10	5
専任教員のうち他大学等を経験したことのある者		12	-	4	-	4	-	10	-	30	-
DDDD研究科AAAA専攻	博士課程後期	15	5	10	3	5	3	10	0	40	11
上記のうち外国人教員		5	1	3	2	0	2	2	0	10	5
専任教員のうち他大学等を経験したことのある者		12	-	4	-	4	-	10	-	30	-

※関連専攻が多く欄が足りない場合は、適宜行を追加してください。

備考

③関連専攻の教員組織

「プログラムの基本情報」（様式1）の「8. 学生の所属する専攻等名」に記載した専攻等の各課程の令和元年（2019年）5月1日現在の教員組織について記入してください。大学ごとにページを複製して作成してください。

大学名： 科学大学

研究科・専攻名	課程区分	教授(名)		准教授(名)		講師(名)		助教(名)		合計(名)	
		専任	兼任	専任	兼任	専任	兼任	専任	兼任	専任	兼任
EEEE研究科AAAA専攻	博士課程前期	15	5	10	3	5	3	10	0	40	11
上記のうち外国人教員		5	1	3	2	0	2	2	0	10	5
専任教員のうち他大学等を経験したことのある者		12	-	4	-	4	-	10	-	30	-
EEEE研究科AAAA専攻	博士課程後期	15	5	10	3	5	3	10	0	40	11
上記のうち外国人教員		5	1	3	2	0	2	2	0	10	5
専任教員のうち他大学等を経験したことのある者		12	-	4	-	4	-	10	-	30	-
EEEE研究科BBBB専攻	博士課程前期	15	5	10	3	5	3	10	0	40	11
上記のうち外国人教員		5	1	3	2	0	2	2	0	10	5
専任教員のうち他大学等を経験したことのある者		12	-	4	-	4	-	10	-	30	-
EEEE研究科BBBB専攻	博士課程後期	15	5	10	3	5	3	10	0	40	11
上記のうち外国人教員		5	1	3	2	0	2	2	0	10	5
専任教員のうち他大学等を経験したことのある者		12	-	4	-	4	-	10	-	30	-

対象となる専攻全てについて、大学ごとに別葉で記入してください。

※関連専攻が多く欄が足りない場合は、適宜行を追加してください。

備考

(2) 経済的支援の現状

「プログラムの基本情報」(様式1)の「8. 学生の所属する専攻等名」に記載した専攻等の各課程において、平成30年度(2018年度)に給付型の経済的支援を受けた者の状況を記入してください。各欄にはそれぞれ的人数を実数で記入してください。大学

大学名: 文部大学

様式3「(5) 学生の研究活動の状況」における在籍者数との整合性に注意してください。

研究科・専攻名	課程区分		在籍学生数	経済的支援を受ける者	TAと採用されている者	RAと採用されている者	フェローシップ・奨学金	うち日本学術振興会特別研究員採用者	その他	授業料免除適用者数
AA期	合計		60	40	15	15	15	0	20	10
	うち、外国人		15	10	5	5	2	0	2	1
AA期	合計		60	40	15	15	15	0	20	10
	うち、外国人		15	10	5	5	2	0	2	1
AAAA研究科CCCC専攻 (H31.4新設)	博士課程(一貫制)	合計	-	-	-	-	-	-	-	-
		うち、外国人	-	-	-	-	-	-	-	-
BBBB研究科AAAA専攻	博士課程前期	合計								10
		うち、外国人								1
BBBB研究科BBBB専攻	博士課程前期	合計								10
		うち、外国人								1
BBBB研究科BBBB専攻	博士課程前期	合計								10
		うち、外国人								1
CCCC研究科AAAA専攻	博士課程前期	合計								10
		うち、外国人								1
CCCC研究科BBBB専攻	博士課程前期	合計								10
		うち、外国人	15	10	5	5	2	0	2	1
CCCC研究科BBBB専攻	博士課程後期	合計	60	40	15	15	15	0	20	10
		うち、外国人								1
DDDD研究科AAAA専攻	博士課程前期	合計								10
		うち、外国人								1
DDDD研究科AAAA専攻	博士課程後期	合計								10
		うち、外国人	15	10	5	5	2	0	2	1
課程区分ごとの在籍学生数合計 ※(5) 学生の研究活動の状況①の在籍者数との整合性に注意してください。	博士課程前期	合計	420							
	博士課程後期	合計	420							
	博士課程(一貫制)	合計	-							

TA、RA、フェローシップ・奨学金、その他、授業料免除適用者については、「経済的支援を受ける者」の内訳
各欄にはそれぞれ的人数を実数で記入してください。

フェローシップ・奨学金の内数。
フェローシップ・奨学金 ≥ 日本学術振興会特別研究員採用者となることに注意してください。

該当する数字が「0」の場合、空欄にせず「0」を記入してください。
新設等で実績がない場合は「-」を記入してください。なお、取組の実績として示すことが有効と判断した場合には、その旨付記の上、旧組織等のデータを記入することも可能です。
旧組織の実績が改組後の実績と密接に関連しており、今後も同様の実績が予想される場合は、旧組織の実績を含めて構いませんが、新設や組織が改組によって大きく変更された場合は、旧組織の実績は含めないでください。

対象となる専攻全てについて、それぞれ課程区分ごとに記入してください。課程区分はプルダウンから選択してください。

課程区分ごとに在籍学生数の合計が自動で計算されます。

※関連専攻が多く欄が不足する場合や課程区分の欄が余る場合は、適宜行を追加・削除してください。

備考

(2) 経済的支援の現状

「プログラムの基本情報」(様式1)の「8. 学生の所属する専攻等名」に記載した専攻等の各課程において、平成30年度(2018年度)に給付型の経済的支援を受けた者の状況を記入してください。各欄にはそれぞれの人数を実数で記入してください。大学ごとにページを複製して作成してください。

大学名： 科学大学

研究科・専攻名	課程区分		在籍学生数	経済的支援を受ける者	TAとして採用されている者	RAとして採用されている者	フェロウシップ・奨学金	うち日本学術振興会特別研究員採用者	その他	授業料免除適用者数	
EEEE研究科AAAA専攻	博士課程前期	合計	60	40	15	15	15	5	20	10	
		うち、外国人	15	10	5	5	2	1	2	1	
	博士課程後期	合計	60	40	15	15	15	5	20	10	
EEEE研究科BBBB専攻	博士課程前期	合計	60	40	15	15	15	5	20	10	
		うち、外国人	15	10	5	5	2	1	2	1	
	博士課程後期	合計	60	40	15	15	15	5	20	10	
		うち、外国人	15	10	5	5	2	1	2	1	
課程区分ごとの在籍学生数 合計 ※(5) 学生の研究活動の状況① の在籍者数との整合性に注意してください。	博士課程前期	合計	120	<div style="border: 1px solid red; padding: 5px;"> 課程区分ごとに在籍学生数の合計が自動で計算されます。 </div>							
	博士課程後期	合計	120								

対象となる専攻全てについて、大学ごとに別葉で記入してください。

※関連専攻が多く欄が不足する場合や課程区分の欄が余る場合は、適宜行を追加・削除してください。

備考

(3) 留学生の受入、日本人学生の派遣実績

「プログラムの基本情報」(様式1)の「8. 学生の所属する専攻等名」に記載した専攻等の各課程における平成29年度(2017年度)、30年度(2018年度)の留学生受入、日本人学生派遣の実績(括弧内は延べ回数)と、平成30年度(2018年度)の受入・派遣先国・地域の上位5か国等の内訳を記入してください。大学ごとにページを複製して作成してください。

大学名: 文部大学

研究科・専攻名	課程区分	留学生受入人数		日本人学生派遣人数		
		29年度	30年度	29年度	30年度	
AAAA研究科AAAA専攻	博士課程前期	括弧内は延べ回数のため、括弧外≦括弧内となります。)
	博士課程後期	5 (7)	4 (5)	2 (3)	5 (5))
AAAA研究科BBBB専攻	博士課程前期	8 (8)	10 (10)	0 (0)	1 (1))
	博士課程後期	5 (7)	4 (5)	2 (3)	5 (5))
AAAA研究科CCCC専攻 (H31.4新設)	博士課程(一貫制)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—))
BBBB研	博士課程前期	8 (8)	10 (10)	0 (0)	1 (1))
		7 (7)	4 (5)	2 (3)	5 (5))
BBBB研		8 (8)	10 (10)	0 (0)	1 (1))
	博士課程後期	5 (7)	4 (5)	2 (3)	5 (5))
CCCC研究科AAAA専攻	博士課程前期	8 (8)	10 (10)	0 (0)	1 (1))
	博士課程後期	5 (5))
CCCC研究科BBBB専攻 (H30.4新設。旧組織名CCCC研究科CCCC専攻、DDDD専攻)	博士課程前期	— (—))
	博士課程後期	— (—))
CCCC研究科CCCC専攻	博士課程前期	8 (8))
	博士課程前期	5 (5))
CCCC研究科DDDD専攻	博士課程前期	8 (8))
	博士課程前期	5 (5))
DDDD研究科AAAA専攻	博士課程前期	8 (8)	10 (10)	0 (0)	1 (1))
	博士課程後期	5 (7)	4 (5)	2 (3)	5 (5))

対象となる専攻全てについて、それぞれ課程区分ごとに記入してください。課程区分はプルダウンから選択してください。

該当する数字が「0」の場合、空欄にせず「0」を記入してください。新設等で実績がない場合は「—」を記入してください。なお、取組の実績として示すことが有効と判断した場合には、その旨付記の上、旧組織等のデータを記入することも可能です。旧組織の実績が改組後の実績と密接に関連しており、今後も同様の実績が予想される場合は、旧組織の実績を含めて構いませんが、新設や組織が改組によって大きく変更された場合は、旧組織の実績は含めないでください。

※関連専攻が多く欄が不足する場合や課程区分の欄が余る場合は、適宜行を追加・削除してください。

備考

括弧内は延べ回数のため、括弧外≦括弧内となります。

留学生受入 (30年度)			日本人学生派遣 (30年度)		
順位	受入先国・地域	人数	順位	派遣先国・地域	人数
1	中国	20 (20)	1	アメリカ	5 (6)
2	韓国	10 (11)	2	ドイツ	3 (3)
3	アメリカ	5 (5)	3	中国	2 (2)
4	台湾	3 (4)	4	スイス、イギリス	2 (2)
5	フィリピン、ドイツ	2 (2)	5	フランス、フィンランド、ニュージーランド	1 (1)

(3) 留学生の受入、日本人学生の派遣実績

「プログラムの基本情報」(様式1)の「8. 学生の所属する専攻等名」に記載した専攻等の各課程における平成29年度(2017年度)、30年度(2018年度)の留学生受入、日本人学生派遣の実績(括弧内は延べ回数)と、平成30年度(2018年度)の受入・派遣先国・地域の上位5か国等の内訳を記入してください。大学ごとにページを複製して作成してください。

大学名：科学大学

研究科・専攻名	課程区分	留学生受入人数		日本人学生派遣人数	
		29年度	30年度	29年度	30年度
AAAA研究科AAAA専攻	博士課程前期	8 (8)	10 (10)	0 (0)	1 (1)
	博士課程後期	5 (7)	4 (5)	2 (3)	5 (5)
AAAA研究科BBBB専攻	博士課程前期	8 (8)	10 (10)	0 (0)	1 (1)
	博士課程後期	5 (7)	4 (5)	2 (3)	5 (5)

※関連専攻が多く欄が不足する場合や課程区分の欄が余る場合は、適宜行を追加・削除してください。

備考

対象となる専攻全てについて、大学ごとに別葉で記入してください。

留学生受入(30年度)			日本人学生派遣(30年度)		
順位	受入先国・地域	人数	順位	派遣先国・地域	人数
1	中国	10 (10)	1	アメリカ	6 (7)
2	韓国	5 (6)	2	中国	3 (3)
3	アメリカ	4 (4)	3	ドイツ	2 (2)
4	台湾	2 (3)	4	イギリス	1 (2)
5	フィリピン、ドイツ	1 (1)	5	フランス	1 (1)

(4) 進路の現状

「プログラムの基本情報」(様式1)の「8. 学生の所属する専攻等名」に記載した専攻等における平成30年度(2018年度)修了者の進路状況(令和元年(2019年)5月1日現在)について、データを集計の上、記入してください。大学ごとにページを複製して作成してください。

大学名: 文部大学

1大学につき1ページで作成してください。

区 分	博士課程修了者(満期退学者を除く)		博士課程満期退学者	
	合計	つら、外国人	合計	つら、外国人
修了者数・満期退学者数	80	28	25	0
① 進学者数	2	0	0	0
② 就職者数	74	26	25	0
②の内訳				
大学の教員(助教)	7	0	5	0
公的な研究機関				
その他公的機関				
②の内訳				
企業(研究開発部門)			10	0
企業(その他の職種)	10	0	0	0
ポストク(同一大学)				
ポストク(他大学等)				
学校の教員(大学を除く)				
その他				
③ 専修学校・外国の学校等入学者				
④ 一時的な仕事に就いた者				
⑤ 死亡・不詳				
⑥ ①~⑤のいずれにも該当しない者	1	1	0	0

①~⑥の合計数と一致 ※自動入力

修士課程、博士課程前期、専門職学位課程修了者については記入しないでください。

②の内訳の合計数と一致 ※自動入力

該当する数字が「0」の場合、空欄にせず「0」を記入してください。

社会人学生は「その他」にカウントしてください。

新設等で指定されている期間の新しい組織としてのデータ等がない専攻がある場合は合計値に含めなくてかまいません。ただし、取組の実績として示すことが有効と判断した場合には、その旨付記の上、旧組織等のデータ等を集計に含めることも可能です。旧組織の実績が改組後の実績と密接に関連しており、今後も同様の実績が予想される場合は、旧組織の実績を含めて構いませんが、新設や組織が改組によって大きく変更された場合は、旧組織の実績は含めないでください。

備考

※CCCC研究科BBBB専攻はH30.4新設。旧組織CCCC研究科CCCC専攻、DDDD専攻の実績を含む。

「② 就職者数」欄に記載の主な就職先
※ 海外の大学・機関である場合は、それが分かるように明示してください。

〇〇大学(アメリカ)、(独)△△研究所、(株)××...

「④ 一時的な仕事に就いた者」欄に記載の主な就職先

××研究所

「⑤ 死亡・不詳」欄の事情、理由

※ 進路を把握できない特別な事情がある場合は記載してください。

本人が海外渡航中のため不詳(確認中) (1人)
学位取得後に帰国したため、その後の進路については不詳(確認中) (1人)

「⑥ ①~⑤のいずれにも該当しない者」欄に記載の具体的な内訳

進学準備中(2人)
就職活動中(2人)

入力欄の行高を調整することにより各項目の分量を調整して作成することが可能ですが、全体が1ページ以内に収まるよう注意してください。

それぞれ「0」の場合は「該当なし」と記載してください。

(4) 進路の現状

「プログラムの基本情報」(様式1)の「8. 学生の所属する専攻等名」に記載した専攻等における平成30年度(2018年度)修了者の進路状況(令和元年(2019年)5月1日現在)について、データを集計の上、記入してください。大学ごとにページを複製して作成してください。

大学名: 科学大学

区 分	博士課程修了者(満期退学者を除く)		博士課程満期退学者		
	合計	うち、外国人	合計	うち、外国人	
修了者数・満期退学者数	20	8	10	0	
① 進学者数	2	2	0	0	
② 就職者数	15	4	8	0	
② の内訳	大学の教員(助教・講師等)	0	0	2	0
	公的な研究機関	3	1	2	0
	その他公的機関	0	0	0	0
	企業(研究開発部門)	5	2	3	0
	企業(その他の職種)				0
	ポストドク(同一大学)				0
	ポストドク(他大学等)				0
	学校の教員(大学を除く)	0	0	1	0
その他	2	0	0	0	
③ 専修学校・外国の学校等入学者	0	0	0	0	
④ 一時的な仕事に就いた者	0	0	1	0	
⑤ 死亡・不詳	2	1	1	0	
⑥ ①~⑤のいずれにも該当しない者	1	1	0	0	

対象となる専攻全てについて、大学ごとに別葉で記入してください。

備考

「② 就職者数」欄に記載の主な就職先
 ※ 海外の大学・機関である場合は、それが分かるように明示してください。

〇〇大学(アメリカ)、(独)△△研究所、(株)××・・・

「④ 一時的な仕事に就いた者」欄に記載の主な就職先

××研究所

「⑤ 死亡・不詳」欄の事情、理由
 ※ 進路を把握できない特別な事情がある場合は記載してください。

本人が海外渡航中のため不詳(確認中) (1人)
 学位取得後に帰国したため、その後の進路については不詳(確認中) (1人)

「⑥ ①~⑤のいずれにも該当しない者」欄に記載の具体的な内訳

進学準備中(2人)
 就職活動中(2人)

(5) 学生の研究活動の状況

以下の①～③は「プログラムの基本情報」(様式1)の「8. 学生の所属する専攻等名」に記載した専攻等に係るデータを集計の上、記入してください。大学ごとにページを複製して作成してください。

1大学につき1ページで作成してください。

大学名: 文部大学

対象期間に注意してください。

発表数÷各区分の在籍者数(自動計算)
(小数点第2位を四捨五入し小数点以下第1位まで表示)
在籍者数は、様式3「(2) 経済的支援の現状」の在籍学生数と一致させてください。

①博士課程学生の学会発表、学術雑誌等への論文等発表数

注1:平成30年度(30年(2018年)4月~31年(2019年)3月の期間)

注2:学会発表数の()内にはうち国外かつ外国語で行われたものを記入してください。

注3:論文発表数は、専攻に所属する学生がレフェリー付学術雑誌に代表又はファーストオーサーとして(印刷済又は採録決定済のもの)に限り、査読中・投稿中のものは除く。)発表した論文数を記入してください。また、論文発表数の()内には、うち外国語で作成した論文数を記入してください。

注4:(2) 経済的支援の現状の課程区分ごとの在籍者数合計との整合性に注意してください。

課程区分	在籍者数	学会発表数	在籍者に対する割合	レフェリー付き論文発表数	在籍者に対する割合
博士課程前期	420	300 回 (100 回)	0.7 回/人 (0.2 回/人)	50 件 (30 件)	0.1 件/人 (0.1 件/人)
博士課程後期	420	300 回 (150 回)	0.7 回/人 (0.4 回/人)	100 件 (80 件)	0.2 件/人 (0.2 件/人)
博士課程(一貫制)	-	- 回 (- 回)	回/人 (回/人)	- 件 (- 件)	件/人 (件/人)

備考

対象となる専攻全てについて集計の上、それぞれ課程区分ごとに記入してください。課程区分はプルダウンから選択してください。

②博士課程学生の主な発表論文

(平成28~30年度(28年(2016年)4月~31年(2019年)3月の期間)における、専攻に所属する学生の主な発表論文(論文名、著者名、学術誌名、巻(号)、最初と最後の頁、発表年(西暦)の各項目を必ず記入)を記入してください。ただし、印刷済又は採録決定済のものに限り、査読中・投稿中のものは除きます。)

1. ○○○○●●●●
2. ○○○○●●●●
3. ○○○○●●●●
4. ○○○○●●●●
5. ○○○○●●●●

対象期間に注意してください。

該当する数字が「0」の場合、空欄にせず「0」を記入してください。

新設等で実績がない場合は「-」を記入してください。
一つの課程区分の中に新設等の専攻が含まれる場合には合計値に含めなくてかまいません。ただし、取組の実績として示すことが有効と判断した場合には、その旨付記の上、旧組織等のデータ等を集計に含めることも可能です。

旧組織の実績が改組後の実績と密接に関連しており、今後も同様の実績が予想される場合は、旧組織の実績を含めて構いませんが、新設や組織が改組によって大きく変更された場合は、旧組織の実績は含めないでください。

③研究費の獲得状況及び学会賞等各賞の受賞状況等

(平成28~30年度(28年(2016年)4月~31年(2019年)3月の期間)における、専攻に所属する学生が獲得した主な研究費(名称、期間、金額等)の獲得状況及び学会賞等(受賞名、受賞年等)の受賞状況について記入してください。また、当該専攻に所属する学生が在籍中に取得した特許や記載された新聞記事など、大学で特筆すべき研究成果と判断されるものがあれば、本欄に記入することが可能です。

○○○○●●●●

対象期間に注意してください。

②、③については、入力欄の行高を調整することにより各項目の分量を調整して作成することが可能ですが、全体が1ページ以内に収まるよう注意してください。

(5) 学生の研究活動の状況

以下の①～③は「プログラムの基本情報」(様式1)の「8. 学生の所属する専攻等名」に記載した専攻等に係るデータを集計の上、記入してください。大学ごとにページを複製して作成してください。

大学名: 科学大学

①博士課程学生の学会発表、学術雑誌等への論文等発表数

注1:平成29年度(29年4月~30年3月の期間)について作成してください。

注2:学会発表数の()内にはうち国外かつ外国語で行われたものを記入してください。

注3:論文発表数は、専攻に所属する学生がレフェリー付学術雑誌に代表又はファーストオーサーとして(印刷済又は採録決定済のものに限り、査読中・投稿中のものは除く。)発表した論文数を記入してください。また、論文発表数の()内には、うち外国語で作成した論文数を記入してください。

注4:(2)経済的支援の現状の課程区分ごとの在籍者数合計との整合性に注意してください。

課程区分	在籍者数	学会発表数	在籍者に対する割合	レフェリー付き論文発表数	在籍者に対する割合
博士課程前期	120	100回 (50回)	0.8回/人 (0.4回/人)	50件 (30件)	0.4件/人 (0.3件/人)
博士課程後期	120	100回 (50回)	0.8回/人 (0.4回/人)	100件 (80件)	0.8件/人 (0.7件/人)

備考

②博士課程学生の主な発表論文

(平成28~30年度(28年(2016年)4月~31年(2019年)3月の期間)における、専攻に所属する学生の主な発表論文(論文名、著者名、学会誌名、巻(号)、最初と最後の頁、発表年(西暦)の各項目を必ず記入)を記入してください。ただし、印刷済又は採録決定済のものに限り、査読中・投稿中のものは除きます。)

- 1. ○○○○.....
- 2. ○○○○.....
- 3. ○○○○.....
- 4. ○○○○.....
- 5. ○○○○.....
-
-
-

1大学につき1ページで作成してください。

③研究費の獲得状況及び学会賞等各賞の受賞状況等

(平成28~30年度(28年(2016年)4月~31年(2019年)3月の期間)における、専攻に所属する学生が獲得した主な研究費(名称、期間、金額等)の獲得状況及び学会賞等(受賞名、受賞年等)の受賞状況について記入してください。また、当該専攻に所属する学生が在籍中に取得した特許や記載された新聞記事など、大学で特筆すべき研究成果と判断されるものがあれば、本欄に記入することが可能です。)

○○○○.....

(6) 申請大学の教育研究実績・環境等（特に国際的な実績）

※単に採択実績を示すだけではなく、大学がどのような教育研究上の国際競争力を持つかや、過去の事業等が大学の努力によりどのように補助期間終了後も継続され本申請に活かされているか、という観点で記載してください。共同申請を行う場合には、大学ごとにページを複製して作成してください。

大学名： 文部大学

1大学につき1ページで作成してください。

①教育活動の実績（申請大学の特筆すべき教育実績等）

○○○○…

②研究活動の実績（申請大学の特筆すべき研究実績等）

○○○○…

入力欄の行高を調整することにより各項目の分量を調整して作成することが可能ですが、全体が1ページ以内に収まるよう注意してください。

③産官学等連携の実績（申請大学の特筆すべき連携実績等）

○○○○…

(6) 申請大学の教育研究実績・環境等（特に国際的な実績）

※単に採択実績を示すだけでなく、大学がどのような教育研究上の国際競争力を持つかや、過去の事業等が大学の努力によりどのように補助期間終了後も継続され本申請に活かされているか、という観点で記載してください。共同申請を行う場合には、大学ごとにページを複製して作成してください。

大学名： 科学大学

①教育活動の実績（申請大学の特筆すべき教育実績等）

○○○○●…

1大学につき1ページで作成してください。

②研究活動の実績（申請大学の特筆すべき研究実績等）

○○○○●…

③産官学等連携の実績（申請大学の特筆すべき連携実績等）

○○○○●…

(7) 連携先機関の教育研究実績・環境等

※連携先機関の教育研究実績・環境等をどのように本申請に活用するかという観点で記載してください。

①教育活動の実績（連携先機関の特筆すべき教育実績等）

○○○○…

まとめて1ページで作成してください。
※連携先機関ごとに作成する必要はありません。

②研究活動の実績（連携先機関の特筆すべき研究実績等）

○○○○…

入力欄の行高を調整することにより各項目の分量を調整して作成することが可能ですが、全体が1ページ以内に収まるよう注意してください。

③産官学等連携の実績（連携先機関の特筆すべき連携実績等）

○○○○…

(8) 他事業の実施状況

① 他事業の実施状況

①本申請にその成果を生かすことができると考えられる他の事業（過去の事業・現在実施中の事業を含む）がある場合、主なものについてその評価を①に記入してください。大学ごと（申請大学、共同申請の場合構成大学、連携先機関に記載の国内の大学）にページを複製して作成してください。

※上記に関わらず、「博士課程教育リーディングプログラム」に採択されているプログラム（補助期間が終了している場合を含む）がある場合は必ず記入してください。

※プログラム名欄には、各事業において使用されている「構想名」「プログラム名称」「取組名」等、該当する事業を識別できる名称を記入してください。なお、プログラム名に相当するものがない場合は、「大学名」を記入してください。

※評価が未実施の場合には、該当する欄に「未実施」と記入してください。

大学名： 文部大学

1大学につき1ページで作成してください。

事業名	プログラム名	申請校	連携校・連携先機関	中間評価結果	事後評価結果
○		○		S	S
○ ○ ○	○○		○	A	A
○ ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○	○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○	○		A	S
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○	○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○	○		A	A
○○○●●●			○	A	A

「プログラムの基本情報」（様式1）に記載した大学（申請大学、共同申請の場合構成大学、連携先機関に記載の国内の大学）ごとに作成してください。

各事業において使用されている「構想名」「プログラム名称」「取組名」等、該当する事業を識別できる名称を記入してください。なお、プログラム名に相当するものがない場合は、「大学名」を記入してください。該当するプログラムがない場合には、未記入と区別するために「プログラム名」欄に「該当なし」と記入してください。

行を追加・削除してください。

備考

② 「博士課程教育リーディングプログラム」における取組の継続状況

②「博士課程教育リーディングプログラム」に採択されており、かつ、補助期間が終了しているプログラムがある場合には、①に加えて、同事業の補助期間終了後における取組の継続状況を1プログラムにつき1ページ以内で記入してください。大学ごと（申請大学、共同申請の場合構成大学、連携先機関に記載の国内の大学）にページを複製して作成してください。

※入学者数・在籍者数・プログラム担当教員数は令和元年度の実数を記入するとともに、（）内に補助期間の最終年度の実数を記入して下さい。

大学名： 文部大学

プログラム名	補助期間 終了年度 (最終年度)	令和元年度の状況（最終年度の状況）		
		入学者数	在籍者数	プログラム 担当教員数
		○ (○)	○ (○)	○ (○)
継続状況の説明				
○○○○…				
<div style="border: 2px solid red; padding: 10px; margin: 10px auto; width: 80%;"> <p>1プログラムにつき、1ページ以内で作成してください。 「プログラムの基本情報」（様式1）に記載した大学（申請大学、共同申請の場合構成大学、連携先機関に記載の国内の大学）ごとに作成してください。 該当するプログラムがない場合には、未記入と区別するため「プログラム名」欄に「該当なし」と記入してください。</p> </div>				
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○○○○	平成29年度			
事業内容の最終年度からの主な変更点 (実施運営の体制など)				
○○○○…				
<div style="border: 2px solid red; padding: 10px; margin: 10px auto; width: 80%;"> <p>入力欄の行高を調整することにより各項目の分量を調整して作成することが可能ですが、全体が1ページ以内に収まるよう注意してください。</p> </div>				

② 「博士課程教育リーディングプログラム」における取組の継続状況

②「博士課程教育リーディングプログラム」に採択されており、かつ、補助期間が終了しているプログラムがある場合には、①に加えて、同事業の補助期間終了後における取組の継続状況を1プログラムにつき1ページ以内で記入してください。大学ごと（申請大学、共同申請の場合構成大学、連携先機関に記載の国内の大学）にページを複製して作成してください。

※入学者数・在籍者数・プログラム担当教員数は令和元年度の実数を記入するとともに、（ ）内に補助期間の最終年度の実数を記入して下さい。

大学名： 科学大学

プログラム名	補助期間 終了年度 (最終年度)	令和元年度の状況（最終年度の状況）		
		入学者数	在籍者数	プログラム 担当教員数
		()	()	()
		継続状況の説明		
		<p>1プログラムにつき、1ページ以内で作成してください。 「プログラムの基本情報」（様式1）に記載した大学（申請大学、共同申請の場合構成大学、連携先機関に記載の国内の大学）ごとに作成してください。 該当するプログラムがない場合には、未記入と区別するため「プログラム名」欄に「該当なし」と記入してください。</p>		
該当なし				
		事業内容の最終年度からの主な変更点 (実施運営の体制など)		

各項目のタイトル・説明文は改編不可（括弧書きも含め必ず残してください。）

令和2年度（2020年度）

卓越大学院プログラム プログラム担当者報告書

ヘッダー（様式4）は、各ページの右上に固定してください（改編不可）。

通し 番号	(フリガナ) 氏 名	機関名・所属(研究科・専攻等)・職名	学 位 (取得大学)	現在の専門
1	(プログラム責任者) (モンブ ハナコ) 文部 花子	文部大学大学院 AAAA 研究科 AAAA 専攻・研究科長	AA 博士 (〇〇大学)	AA 科学
役割分担	事業総括			
コミット メント	博士課程教育の改革に向けた本プログラムの実施に当たっての関わり方や、各々の役割の中での力点などについて、 本人が記入してください。卓越大学院プログラムの他のプログラム担当者（既に採択されたものや他大学のものも含む） を兼任する場合は、関係するプログラム全ての業務の遂行に支障がないことを記入してください。 ○○○○・・・			
	「プログラムの基本情報」（様式1）の「14. プログラム担当者一覧」（及び組織表）に記載した順に作成し、 通し番号を付してください。（番号1はプログラム責任者、番号2はプログラムコーディネーターとし、それ以降のプログラム担 当者の通し番号についても「14. プログラム担当者一覧」（及び「組織表」）の番号と一致させてください。）			
	様式4は、プログラム担当者全員分（共同実施機関及び連携先機関所属者を含む）について、1人につき1ページで作成してくだ さい。 同一ページ内において各項目の区分線を必要最小限移動して作成することが可能です。 「プログラムの基本情報」（様式1）の「14. プログラム担当者一覧」（及び組織表）各項目における記載との整合性に注意してく ださい。			
職歴	プログラム責任者が、本事業の他のプログラム担当者を兼任する場合は、関係するプログラム全ての業務遂行に支 障がないことを「コミットメント」欄に記入してください。			
教育研究 実績・資源 (特に国際 的な実績)	◆教育活動の実績（プログラム担当者の特筆すべき教育実績等） ○○○○・・・			
	項目の位置を必要最小限移動することにより各項目の分量を調整して作成することが可能です。			
	◆研究活動の実績（プログラム担当者の特筆すべき研究実績等） ○○○○・・・			
主な発表 論文・著書 (2件以内)	◆社会活動の実績（プログラム担当者の特筆すべき社会活動実績等） ○○○○・・・			
	印刷済又は採録決定済のものに限り、査読中・投稿中のものは除く、最近（原則5年以内に）発表したものについて、 論文名・著書名・著者名・学会誌名・巻(号)・最初と最後のページ・発表年(西暦)を記入するとともに、これらの 業績を確認できるURLを記入(HP名称等ではなく、URLを必ず記入すること) ○○○○・・・ ○ ・既に発表した代表的な論文または著書があれば、この欄に記載してください(2件まで)。 ・業績を確認できるウェブサイトのURLを記入してください。PDF化した際にリンクが有効になるようにしてください。 https://AAAA.monbu-u.ac.jp/kyoin/hanako_monbu.html			
エフォ ート予定	平	フッターは機関名、プログラム名称を、各ページの欄外下に固定して記入してください。		ト)の予定を記入

令和2年度（2020年度）

卓越大学院プログラム プログラム担当者調書

通し 番号	(フリガナ) 氏 名	機関名・所属(研究科・専攻等)・職名	学 位 (取得大学)	現在の専門
2	(プログラムコーディネーター) (モンブ ジロウ) 文部 次郎	文部大学大学院 AAAA 研究科 AAAA 専攻・教授	AA 博士 (××大学)	AA 科学
役割分担	運営委員会委員長			
コミット メント	博士課程教育の改革に向けた本プログラムの実施に当たっての関わり方や、各々の役割の中での力点などについて、本人が記入してください。 ○○○○・・・			
職歴	○○○○・・・			
教育研究 実績・資源 (特に国際 的な実績)	<p>◆教育活動の実績（プログラム担当者の特筆すべき教育実績等） ○○○○・・・</p> <p>◆研究活動の実績（プログラム担当者の特筆すべき研究実績等） ○○○○・・・</p> <p>◆社会活動の実績（プログラム担当者の特筆すべき社会活動実績等） ○○○○・・・</p>			
主な発表 論文・著書 (2件以内)	印刷済又は採録決定済のものに限り、査読中・投稿中のものは除く、最近（原則5年以内に）発表したものについて、論文名・著書名・著者名・学会誌名・巻（号）・最初と最後のページ・発表年（西暦）を記入するとともに、これらの業績を確認できる URL を記入（HP 名称等ではなく、URL を必ず記入すること） ○○○○・・・ ○○○○・・・ https:// ・・・			
エフオー ト予定	本プログラムに割り当てる時間・労力の割合（エフォート）の予定を記入 ○○ 割			

令和2年度（2020年度）

卓越大学院プログラム プログラム担当者調書

通し 番号	(フリガナ) 氏 名	機関名・所属(研究科・専攻等)・職名	学 位 (取得大学)	現在の専門
3	(モンブ サプロウ) 文部 三郎	文部大学大学院 AAAA 研究科 AAAA 専攻・教授	博士 (AA) (△△大学)	AA 科学
役割分担	〇〇プロジェクトリーダー			
コミット メント	<p>博士課程教育の改革に向けた本プログラムの実施に当たっての関わり方や、各々の役割の中での力点などについて、本人が記入してください。卓越大学院プログラムの他のプログラム担当者を兼任する場合は、兼任の理由と見込まれる効果について記入してください。</p> <p>〇〇〇〇・・・</p> <p style="border: 1px solid red; padding: 2px;">プログラム担当者が別のプログラムのプログラム担当者を兼任する場合には、兼任の理由と見込まれる効果についての説明を「コミットメント」欄に記載してください。</p>			
職歴	〇〇〇〇・・・			
教育研究 実績・資源 (特に国際 的な実績)	<p>◆教育活動の実績（プログラム担当者の特筆すべき教育実績等）</p> <p>〇〇〇〇・・・</p> <p>◆研究活動の実績（プログラム担当者の特筆すべき研究実績等）</p> <p>〇〇〇〇・・・</p> <p>◆社会活動の実績（プログラム担当者の特筆すべき社会活動実績等）</p> <p>〇〇〇〇・・・</p>			
主な発表 論文・著書 (2件以内)	<p>印刷済又は採録決定済のものに限り、査読中・投稿中のものは除く、最近（原則5年以内に）発表したものについて、論文名・著書名・著者名・学会誌名・巻（号）・最初と最後のページ・発表年（西暦）を記入するとともに、これらの業績を確認できる URL を記入（HP 名称等ではなく、URL を必ず記入すること）</p> <p>〇〇〇〇・・・</p>			
エフオー ト予定	本プログラムに割り当てる時間・労力の割合（エフォート）の予定を記入			
	〇〇 割			

令和2年度(2020年度) 卓越大学院プログラム 資金計画表

機関名、プログラム名称を記入してください。記入内容に応じてテキストボックスの長さは調整可能ですが、向き、位置は変更しないでください。

単位に注意してください。

単位：千円

事業年度	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)
補助金申請額(直接経費)							
間接経費							
学内外資源							
うち学内資源							
うち学外資源							
(参考)学内外資源の主な用途と財源							
計							

(機関名: 文部大学 プログラム名称: ○○○○○○○○○○○○○○○○○)

2年度目以降は初年度の補助金申請額を上限としてください。

「プログラムの基本情報」(様式1)の「1.2. 補助金申請額と間接経費の合計額」、「経費関係調書」(様式5-2)との整合性に注意してください。

「間接経費」欄には、「補助金申請額」の30%が自動入力されます。

「学内外資源」欄には、「うち学内資源」、「うち学外資源」の合計額が自動入力されます。

7年度目には本事業からの補助金額が初年度補助金額の1/3に逓減することを踏まえて作成してください。

初年度から一定の学内外資源の活用を資金計画に含めてください。2年度目であれば、総事業費に対しておおむね20~30%と考えられます。

審査の参考として、学内外資源の財源及び主な用途の例を記載してください。

「学内外資源の対補助金比率」欄には、「学内外資源」÷(「補助金申請額」+「間接経費」)が自動入力されます。

4年度目に本事業からの補助金額と同程度以上の学内外資源を確保することを想定して作成してください。
(「学内外資源の対補助金比率」は100%以上になります。)

「補助金申請額と間接経費の合計額」欄は、「補助金申請額(直接経費)」を入力すると、自動入力されます。

・ 網掛け部分は自動計算のため、数値を入力しないでください。

令和2年度（2020年度）

ヘッダー（様式5-2）は、各ページの右上に固定してください（改編不可）。

卓越大学院プログラム 経費関係調書

各年度1ページに収めてください。

<令和2年度（2020年度）>

年度の事業計画

※ 当該年度に本補助金を充当して実施する事業の具体的内容について記載

本補助金の適切かつ効果的な使用計画（各経費（物品費、人件費・謝金、旅費、その他）の使用目的、必要性等）について、具体的かつ明確、簡潔に記載してください。

○○○○・・・

各項目のタイトル・説明文は改編不可。括弧書きも含め必ず残してください。

様式5-2は、申請経費について、1年度につき1ページで作成してください。

同一ページ内において各項目の区分線を必要最小限移動して作成することが可能です。

各年度とも、「プログラムの基本情報」（様式1）の「12. 補助金申請額と間接経費の合計額」、「資金計画表」（様式5-1）に記載する金額との整合性に注意してください。

補助金申請額（直接経費）の明細

・申請できる経費は、本事業計画の遂行に必要な経費です。

対象期間に注意してください。

・用途は卓越大学院プログラムの目的に限定されます。

・申請（基幹）大学で使用する経費と共同実施機関で使用する経費を区分して記載してください。

・令和2年度（2020年度）は令和2年（2020年）10月～令和3年（2021年）3月の6ヶ月分の必要経費を申請してください。

記載例：研究打ち合わせ旅費 ○○人×@○○円 ○○千円
資料整理謝金 ○人×○日×@○○円 ○○千円

<令和2年度（2020年度）計画> 経費区分	金額（千円）		備考
	申請大学での使用金額	共同実施機関での使用金額	
【物品費】	0	0	
○○○○測定器	○○○○	○○○○	○○特別実習
××××システム	○○○○	○○○○	オープンラボ（共同研究）用
○○○○×@○○円	○○○○	○○○○	
【人件費・謝金】	0	0	
○○○○ ○人×@○○円×○月			
○○○○ ○人×@○○円×○月			
○○○○ ○人×@○○円			
【旅費】			
○○○○ ○人×@○○円			
○○○○ ○人×@○○千円×○回	○○○○		
○○○○ ○人×@○○千円×○回	○○○○		
【その他（教育研究支援経費）】	0	0	
【その他（教育研究支援経費以外）】	0	0	
○○○○	○○○○	○○○○	
○○○○	○○○○	○○○○	
○○○○	○○○○		
○○○○	○○○○		
機関名、プログラム名称を、各ページの欄外下に固定して記入してください。	○○		
（令和2年度（2020年度））	合計	0	0

行の高さや「年度の事業計画」欄を調整することで「経費区分」の行を増やすことが可能です。
※全体で1ページに収めてください。

（機関名：文部大学 プログラム名称：○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○）

令和2年度（2020年度）

卓越大学院プログラム 経費関係調書

<令和3年度（2021年度）>

年度の事業計画

※ 当該年度に本補助金を充当して実施する事業の具体的内容について記載

本補助金の適切かつ効果的な使用計画（各経費（物品費、人件費・謝金、旅費、その他）の使用目的、必要性等）について、具体的かつ明確、簡潔に記載してください。

○○○○・・・

補助金申請額（直接経費）の明細

- ・申請できる経費は、本事業計画の遂行に必要な経費です。
- ・使途は卓越大学院プログラムの目的に限定されます。
- ・申請（基幹）大学で使用する経費と共同実施機関で使用する経費を区分して記載してください。

〔 記載例：研究打ち合わせ旅費 ○○人×@○○円 ○○千円
資料整理謝金 ○人×○日×@○○円 ○○千円 〕

<令和3年度（2021年度）計画> 経費区分	金額（千円）		備考
	申請大学での 使用金額	共同実施機関での 使用金額	
【物品費】	0	0	
○○○○	○○○○	○○○○	○○○○
○○○○	○○○○	○○○○	○○○○
○○○○×@○○円	○○○○	○○○○	○○○○
【人件費・謝金】	0	0	
○○○○ ○人×@○○円×○月			
○○○○ ○人×@○○円×○月			
○○○○ ○人×@○○円×○時間×○回			
【旅費】	0	0	
○○○○ ○人×@○○千円×○回	○○○○		
○○○○ ○人×@○○千円×○回	○○○○		
○○○○ ○人×@○○千円×○回	○○○○		
【その他（教育研究支援経費）】	0	0	
【その他（教育研究支援経費以外）】	0	0	
○○○○	○○○○	○○○○	
○○○○	○○○○	○○○○	
○○○○	○○○○		
○○○○	○○○○		
○○○○	○○○○		
(令和3年度（2021年度）) 合計	0	0	
		0	

(機関名：文部大学 学部名称：○○○○○○○○○○○○○○○○○○)

令和2年度（2020年度）

卓越大学院プログラム 経費関係調書

<令和4年度（2022年度）>

年度の事業計画

※ 当該年度に本補助金を充当して実施する事業の具体的内容について記載

本補助金の適切かつ効果的な使用計画（各経費（物品費、人件費・謝金、旅費、その他）の使用目的、必要性等）について、具体的かつ明確、簡潔に記載してください。

○○○○・・・

補助金申請額（直接経費）の明細

- ・申請できる経費は、本事業計画の遂行に必要な経費です。
- ・用途は卓越大学院プログラムの目的に限定されます。
- ・申請（基幹）大学で使用する経費と共同実施機関で使用する経費を区分して記載してください。

〔 記載例：研究打ち合わせ旅費 ○○人×@○○円 ○○千円
資料整理謝金 ○人×○日×@○○円 ○○千円 〕

<令和4年度（2022年度）計画> 経費区分	金額（千円）		備考
	申請大学での 使用金額	共同実施機関での 使用金額	
【物品費】	0	0	
○○○○	○○○○	○○○○	○○○○
○○○○	○○○○	○○○○	○○○○
○○○○×@○○円	○○○○	○○○○	○○○○
【人件費・謝金】	0	0	
○○○○ ○人×@○○円×○月			
○○○○ ○人×@○○円×○月			
○○○○ ○人×@○○円×○時間×○回			
【旅費】	0	0	
○○○○ ○人×@○○千円×○回	○○○○		
○○○○ ○人×@○○千円×○回	○○○○		
○○○○ ○人×@○○千円×○回	○○○○		
【その他（教育研究支援経費）】	0	0	
【その他（教育研究支援経費以外）】	0	0	
○○○○	○○○○	○○○○	
○○○○	○○○○	○○○○	
○○○○	○○○○		
○○○○	○○○○		
○○○○	○○○○		
(令和4年度（2022年度）) 合計	0	0	
		0	

（機関名：文部大学 フォーム名称：○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○）

令和2年度（2020年度）

卓越大学院プログラム 経費関係調書

<令和5年度（2023年度）>

年度の事業計画

※ 当該年度に本補助金を充当して実施する事業の具体的内容について記載

本補助金の適切かつ効果的な使用計画（各経費（物品費、人件費・謝金、旅費、その他）の使用目的、必要性等）について、具体的かつ明確、簡潔に記載してください。

○○○○・・・

補助金申請額（直接経費）の明細

- ・申請できる経費は、本事業計画の遂行に必要な経費です。
- ・使途は卓越大学院プログラムの目的に限定されます。
- ・申請（基幹）大学で使用する経費と共同実施機関で使用する経費を区分して記載してください。

〔 記載例：研究打ち合わせ旅費 ○○人×@○○円 ○○千円
資料整理謝金 ○人×○日×@○○円 ○○千円 〕

<令和5年度（2023年度）計画> 経費区分	金額（千円）		備考
	申請大学での 使用金額	共同実施機関での 使用金額	
【物品費】	0	0	
○○○○	○○○○	○○○○	○○○○
○○○○	○○○○	○○○○	○○○○
○○○○×@○○円	○○○○	○○○○	○○○○
【人件費・謝金】	0	0	
○○○○ ○人×@○○円×○月			
○○○○ ○人×@○○円×○月			
○○○○ ○人×@○○円×○時間×○回			
【旅費】	0	0	
○○○○ ○人×@○○千円×○回	○○○○		
○○○○ ○人×@○○千円×○回	○○○○		
○○○○ ○人×@○○千円×○回	○○○○		
【その他（教育研究支援経費）】	0	0	
【その他（教育研究支援経費以外）】	0	0	
○○○○	○○○○	○○○○	
○○○○	○○○○	○○○○	
○○○○	○○○○		
○○○○	○○○○		
○○○○	○○○○		
(令和5年度（2023年度）) 合計	0	0	

(機関名：文部大学 学部名称：○○○○○○○○○○○○○○○○○○)

令和2年度（2020年度）

卓越大学院プログラム 経費関係調書

<令和6年度（2024年度）>

年度の事業計画

※ 当該年度に本補助金を充当して実施する事業の具体的内容について記載

本補助金の適切かつ効果的な使用計画（各経費（物品費、人件費・謝金、旅費、その他）の使用目的、必要性等）について、具体的かつ明確、簡潔に記載してください。

〇〇〇〇・・・

補助金申請額（直接経費）の明細

- ・申請できる経費は、本事業計画の遂行に必要な経費です。
- ・使途は卓越大学院プログラムの目的に限定されます。
- ・申請（基幹）大学で使用する経費と共同実施機関で使用する経費を区分して記載してください。

〔 記載例：研究打ち合わせ旅費 〇〇人×@〇〇円 〇〇千円
資料整理謝金 〇人×〇日×@〇〇円 〇〇千円 〕

<令和6年度（2024年度）計画> 経費区分	金額（千円）		備考
	申請大学での 使用金額	共同実施機関での 使用金額	
【物品費】	0	0	
〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇
〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇
〇〇〇〇×@〇〇円	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇
【人件費・謝金】	0	0	
〇〇〇〇 〇人×@〇〇円×〇月			
〇〇〇〇 〇人×@〇〇円×〇月			
〇〇〇〇 〇人×@〇〇円×〇時間×〇回			
【旅費】	0	0	
〇〇〇〇 〇人×@〇〇千円×〇回	〇〇〇〇		
〇〇〇〇 〇人×@〇〇千円×〇回	〇〇〇〇		
〇〇〇〇 〇人×@〇〇千円×〇回	〇〇〇〇		
【その他（教育研究支援経費）】	0	0	
【その他（教育研究支援経費以外）】	0	0	
〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	
〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	
〇〇〇〇	〇〇〇〇		
〇〇〇〇	〇〇〇〇		
〇〇〇〇	〇〇〇〇		
(令和6年度（2024年度）) 合計	0	0	

(機関名：文部大学 フォーム名称：〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇)

令和2年度（2020年度）

卓越大学院プログラム 経費関係調書

<令和7年度（2025年度）>

年度の事業計画

※ 当該年度に本補助金を充当して実施する事業の具体的内容について記載

本補助金の適切かつ効果的な使用計画（各経費（物品費、人件費・謝金、旅費、その他）の使用目的、必要性等）について、具体的かつ明確、簡潔に記載してください。

○○○○・・・

補助金申請額（直接経費）の明細

- ・申請できる経費は、本事業計画の遂行に必要な経費です。
- ・使途は卓越大学院プログラムの目的に限定されます。
- ・申請（基幹）大学で使用する経費と共同実施機関で使用する経費を区分して記載してください。

〔 記載例：研究打ち合わせ旅費 ○○人×@○○円 ○○千円
資料整理謝金 ○人×○日×@○○円 ○○千円 〕

<令和7年度（2025年度）計画> 経費区分	金額（千円）		備考
	申請大学での 使用金額	共同実施機関での 使用金額	
【物品費】	0	0	
○○○○	○○○○	○○○○	○○○○
○○○○	○○○○	○○○○	○○○○
○○○○×@○○円	○○○○	○○○○	○○○○
【人件費・謝金】	0	0	
○○○○ ○人×@○○円×○月			
○○○○ ○人×@○○円×○月			
○○○○ ○人×@○○円×○時間×○回			
【旅費】	0	0	
○○○○ ○人×@○○千円×○回	○○○○		
○○○○ ○人×@○○千円×○回	○○○○		
○○○○ ○人×@○○千円×○回	○○○○		
【その他（教育研究支援経費）】	0	0	
【その他（教育研究支援経費以外）】	0	0	
○○○○	○○○○	○○○○	
○○○○	○○○○	○○○○	
○○○○	○○○○		
○○○○	○○○○		
○○○○	○○○○		
(令和7年度（2025年度）) 合計	0	0	
		0	

(機関名：文部大学 学部名称：○○○○○○○○○○○○○○○○○○)

令和2年度（2020年度）

卓越大学院プログラム 経費関係調書

<令和8年度（2026年度）>

年度の事業計画

※ 当該年度に本補助金を充当して実施する事業の具体的内容について記載

本補助金の適切かつ効果的な使用計画（各経費（物品費、人件費・謝金、旅費、その他）の使用目的、必要性等）について、具体的かつ明確、簡潔に記載してください。

○○○○・・・

補助金申請額（直接経費）の明細

- ・申請できる経費は、本事業計画の遂行に必要な経費です。
- ・用途は卓越大学院プログラムの目的に限定されます。
- ・申請（基幹）大学で使用する経費と共同実施機関で使用する経費を区分して記載してください。

〔 記載例：研究打ち合わせ旅費 ○○人×@○○円 ○○千円
資料整理謝金 ○人×○日×@○○円 ○○千円 〕

<令和8年度（2026年度）計画> 経費区分	金額（千円）		備考
	申請大学での 使用金額	共同実施機関での 使用金額	
【物品費】	0	0	
○○○○	○○○○	○○○○	○○○○
○○○○	○○○○	○○○○	○○○○
○○○○×@○○円	○○○○	○○○○	○○○○
【人件費・謝金】	0	0	
○○○○ ○人×@○○円×○月			
○○○○ ○人×@○○円×○月			
○○○○ ○人×@○○円×○時間×○回			
【旅費】	0	0	
○○○○ ○人×@○○千円×○回	○○○○		
○○○○ ○人×@○○千円×○回	○○○○		
○○○○ ○人×@○○千円×○回	○○○○		
【その他（教育研究支援経費）】	0	0	
【その他（教育研究支援経費以外）】	0	0	
○○○○	○○○○	○○○○	
○○○○	○○○○	○○○○	
○○○○	○○○○		
○○○○	○○○○		
○○○○	○○○○		
(令和8年度（2026年度）) 合計	0	0	
		0	

(機関名：文部大学 学部名称：○○○○○○○○○○○○○○○○○○)

令和2年度（2020年度）卓越大学院プログラム
申請資格の確認

大学ごとに作成・2ページ以内（枠内に記入）

大学ごと（申請大学、共同申請の場合構成大学、連携先機関に記載の国内の大学）にページを複製して作成してください。

大学名	文部大学	「プログラムの基本情報」（様式1）に記載した大学（申請大学、共同申請の場合構成大学、連携先機関に記載の国内の大学）ごとに作成してください。
○申請資格の確認について		

下表 i) ~ ix) のいずれかに該当する大学は、本事業 i) ~ ix) について、各確認欄に「該当しない」を記入してください。また、v)、vi) に関連することとして、表1及び表2をそれぞれ記入してください。

i) ~ ix) の各申請資格の確認項目について、該当しない場合は、「該当しない」と記入してください。下表 i) ~ ix) のいずれかに該当する大学は、本プログラムに申請できず、共同申請の構成大学や連携先機関になることもできません。

組織運営関係	i)	学生募集停止中の大学	該当しない
	ii)	学校教育法第109条の規定に基づき文部科学大臣の認証を受けた者による直近の評価の結果、「不適合」の判定を受けている大学	該当しない
	iii)	公募要領4. (2) iii) に掲げる表において、上段の区分の令和2年度のものを含む直近の修業年限期間中、連続して下段の収容定員充足率を満たしていない大学	該当しない
	iv)	「私立大学等経常費補助金」において定員の充足状況に係る基準以外の事由により、前年度に不交付又は減額の措置を受けた大学	該当しない
	v)	令和元年度に実施した再推費における事業の事後評価において、「事業目的が達成できなかった」等の最も低い評価を受けた大学（対象事業は表1のとおり。）	該当しない
	vi)	令和元年度に実施した再推費における事業の中間評価で、「中止することが必要」等の最も低い評価を受けた大学（対象事業は表2のとおり。）	該当しない
設置関係	vii)	設置計画履行状況等調査において、「警告」が付されている大学	該当しない
	viii)	大学、大学院、短期大学及び高等専門学校を設置等に係る認可の基準（平成15年文部科学省告示第45号）第2条第1号若しくは第2号のいずれかに該当する者が設置する大学	該当しない
	ix)	公募要領4. (2) ix) に掲げる基準を満たしていない学部を設置している大学	該当しない

「表1」「表2」で示す対象事業において、評価の実施されたプログラムの有無を記入してください。当該事業に申請大学として参加している場合は「実施有無」に「有」、連携校として参加している場合や事業自体を実施していない場合は「実施有無」に「無」と記入してください。

実施「有」とした場合は、実施件数を記入の上、評価の実施された事業名及びその評価結果を記入してください。

評価の実施された事業に申請大学として参加している場合は「有」、それ以外は「無」と記入してください。

表1：令和元年度に実施した事後評価の結果、申請できない条件の対象となる事業

事業名	実施有無	実施件数	評価の実施されたプログラム名※1	事後評価結果
博士課程教育リーディングプログラム（平成25年度採択）	有	2	○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○	S
			○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○	A
大学の世界展開力強化事業（ロシア、インド等） （平成26年度採択）	無			
課題解決型高度医療人材養成プログラム（看護師・薬剤師等のメディカルスタッフを対象とした人材養成）（平成26年度採択）	無			
未来価値創造人材育成プログラム（科学技術の社会実装教育エコシステム拠点の形成）（平成30年度採択）	無			

1つのプログラムにおいて、複数の事業で評価が実施されている場合は、記入欄を上下に分割して、該当する全ての事業名及びその評価結果を記入してください。

実施「有」とした場合のみ記入してください。評価の実施された事業件数を記入の上、評価の実施された事業名及びその評価結果を記入してください。

表2：令和元年度に実施した中間評価の結果、申請できない条件の対象となる事業

事業名	実施有無	実施件数	評価の実施されたプログラム名※1	中間評価結果
大学の世界展開力強化事業（ロシア、インド等との大学間交流形成支援）（平成29年度採択）	無			
成長分野を支える情報技術人材の育成拠点の形成（enPiT）（平成29年度採択）	無			
課題解決型高度医療人材養成プログラム（病院経営支援に関する領域）（平成29年度採択）	無			
多様な新ニーズに対応する「がん専門医療人材（がんプロフェッショナル）」養成プラン（平成29年度採択）	無			
基礎研究医養成活性化プログラム（平成29年度採択）	無			
未来価値創造人材育成プログラム（科学技術の社会実装教育エコシステム拠点の形成事業）（平成30年度採択）	無			

※1 各事業において使用されている「構想名」「プログラム名称」「取組名」等、該当する事業を識別できる名称を記入してください。なお、プログラム名に相当するものがない場合は、「大学名」を記入してください。

令和2年度（2020年度）卓越大学院プログラム
 申請資格の確認
 大学ごと（申請大学、共同申請の場合構成大学、連携先機関に記載の国内の大学など）を、下記を参考に
 作成してください。

大学ごとに作成・2ページ以内（枠内に記入）

大学名 科学大学

○申請資格の確認について

下表 i) ~ ix) のいずれかに該当する大学は、本事業に申請できず、共同申請の構成大学や連携先機関になることもできません。
 i) ~ ix) について、各確認欄に「該当しない」を記入してください。
 また、v)、vi) に関連することとして、表1及び表2をそれぞれ記入してください。

i) ~ ix) の各申請資格の確認項目について、該当しない場合は、「該当しない」と記入してください。下表 i) ~ ix) のいずれかに該当する大学は、本プログラムに申請できず、共同申請の構成大学や連携先機関になることもできません。

組織運営関係	i)	学生募集停止中の大学	該当しない
	ii)	学校教育法第109条の規定に基づき文部科学大臣の認証を受けた者による直近の評価の結果、「不適合」の判定を受けている大学	該当しない
	iii)	公募要領4. (2) iii) に掲げる表において、上段の区分の令和2年度のものを含む直近の修業年限期間中、連続して下段の収容定員充足率を満たしていない大学	該当しない
	iv)	「私立大学等経常費補助金」において定員の充足状況に係る基準以外の事由により、前年度に不交付又は減額の措置を受けた大学	該当しない
	v)	令和元年度に実施した再推費における事業の事後評価において、「事業目的が達成できなかった」等の最も低い評価を受けた大学（対象事業は表1のとおり。）	該当しない
	vi)	令和元年度に実施した再推費における事業の中間評価で、「中止することが必要」等の最も低い評価を受けた大学（対象事業は表2のとおり。）	該当しない
設置関係	vii)	設置計画履行状況等調査において、「警告」が付されている大学	該当しない
	viii)	大学、大学院、短期大学及び高等専門学校を設置等に係る認可の基準（平成15年文部科学省告示第45号）第2条第1号若しくは第2号のいずれかに該当する者が設置する大学	該当しない
	ix)	公募要領4. (2) ix) に掲げる基準を満たしていない学部を設置している大学	該当しない

フッターは機関名、プログラム名称を、各ページの欄外下に固定して記入してください。

(機関名：文部大学 プログラム名称：○○○○○○○○○○○○○○○○○○)

「表1」「表2」で示す対象事業において、評価の実施されたプログラムの有無を記入してください。当該事業に申請大学として参加している場合は「実施有無」に「有」、連携校として参加している場合や事業自体を実施していない場合は「実施有無」に「無」と記入してください。

実施「有」とした場合は、実施件数を記入の上、評価の実施された事業名及びその評価結果を記入してください。

評価の実施された事業に申請大学として参加している場合は「有」、それ以外は「無」と記入してください。

表1：令和元年度に実施した事後評価の結果、申請できない条件の対象となる事業

事業名	実施有無	実施件数	評価の実施されたプログラム名※1	事後評価結果
博士課程教育リーディングプログラム（平成25年度採択）	有	2	○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○	S A
大学の世界展開力強化事業（ロシア、インド等との大学間交流形成支援）（平成29年度採択）	無			
課題解決型高度医療人材養成プログラム（看護師・薬剤師等のメディカルスタッフを対象とした人材養成）（平成26年度採択）	無			
未来価値創造人材育成プログラム（科学技術の社会実装教育エコシステム拠点の形成）（平成30年度採択）	無			

1つのプログラムにおいて、複数の事業で評価が実施されている場合は、記入欄を上下に分割して、該当する全ての事業名及びその評価結果を記入してください。

実施「有」とした場合のみ記入してください。評価の実施された事業件数を記入の上、評価の実施された事業名及びその評価結果を記入してください。

表2：令和元年度に実施した中間評価の結果、申請できない条件の対象となる事業

事業名	実施有無	実施件数	評価の実施されたプログラム名※1	中間評価結果
大学の世界展開力強化事業（ロシア、インド等との大学間交流形成支援）（平成29年度採択）	無			
成長分野を支える情報技術人材の育成拠点の形成（enPiT）（平成29年度採択）	無			
課題解決型高度医療人材養成プログラム（病院経営支援に関する領域）（平成29年度採択）	無			
多様な新ニーズに対応する「がん専門医療人材（がんプロフェッショナル）」養成プラン（平成29年度採択）	無			
基礎研究医養成活性化プログラム（平成29年度採択）	無			
未来価値創造人材育成プログラム（科学技術の社会実装教育エコシステム拠点の形成事業）（平成30年度採択）	無			

※1 各事業において使用されている「構想名」「プログラム名称」「取組名」等、該当する事業を識別できる名称を記入してください。なお、プログラム名に相当するものがない場合は、「大学名」を記入してください。